

みやぎのだより

No. 74

みやぎの酪農農業協同組合広報誌

平成25年5月29日



平成25年3月1日 青年部大崎支部ボウリング大会 三本木ボウリング場にて

CONTENTS

輸入粗飼料情勢について……………1	第42回東北酪農発表大会開催される……………7
平成24年度生乳需給状況について……………3	宮城県酪農協会平成24年度酪農婦人研修会について…8
第64回通常総会・地区別説明会の開催について…4	TPP反対緊急集会開催される……………8
栗原事業所の閉鎖について……………4	受精卵子牛市場情報……………9
哺育育成センターだより……………5	理事会通信……………9
平成25年度指導事業説明会行われる……………5	業務報告(3月～4月分)……………10
畜舎環境美化コンクール表彰式・講演会開催……………6	人事のお知らせ……………11
生乳の安全安心の確保のための宮城県協議会モニタリング実施…6	編集後記……………11
平成25年度酪農ちびっ子勉強村春季交流会に参加…7	

輸入粗飼料情勢

北米コンテナ情勢

各船会社、不況を背景にコンテナ部門の採算の悪化が続いております。しかし需給バランスが崩れることを懸念し値上げができない状況の中で、船会社が無料で貸出していたシャーシの貸し出しの停止など、独自で行っていたサービスを中止する船会社が増えております。また、米国西海岸北西部地区の港では空コンテナ不足が続いております。

①ビートパルプ(US産)

産地では製糖作業が行われており、遅い工場では5月末迄ビートパルプの生産が続きます。例年であれば、4月より作付けが始まり4月末には約75%程度の進捗状況ですが、冬の積雪が多く殆んど作付けは始まっていない模様です。これらのことからスタートが遅れ、また、砂糖の相場価格も低調なことから13年産のビートパルプは作付面積、生産量は減少すると予想されます。

②アルファルファ

(ワシントン産)

5月上旬から一部の地域で一番刈りの収穫が始まる予定です。米国内の乳価の低迷から国内の引き合いが弱くなることが予想され作付面積は減少すると予想されます。しかし一方でトウモロコシ価格が昨年より軟調に推移していることから作付面積が増加する予想が一部ある模様です。

(オレゴン産)

クリスマスバレーでは、例年より1-2週間早く収穫が始まると予想され、作付面積は昨年と変わらない模様です。

(ネバダ産)

今年の作付面積は昨年と変わらない模様です。冬の降雨量が少なかった為、1、2番刈りまでの収穫になるという予想がされております。

(カリフォルニア産)

インペリアルバレーの作付面積は前年より3%程度増えている模様です。産地では2番刈りの収穫が本格化しております。産地価格はやや軟化しておりますが、中東のUAEや中国が買い付けを始めている模様です。

③チモシー

(US産)

ワシントン州では好調な需要を受け、儲かる農産物として13年産の作付面積は増えており、また、アイダホ州でも作付面積は増えると予想されます。

(カナダ産)

13年産はドライランドでは作付面積は前年同様と予想されております。レスブリッジではチモシーの他に大麦などの穀物類も作付けされていることから、穀物の相場価格により作付面積は変化すると予想されます。



USチモシー圃場 4/25



スーダングラス圃場 4/26

④スーダングラス

小麦の相場価格の軟調から作付面積が減少し、早播きスーダンの作付面積は前年比16%程度増えております。一方インペリアル地方で農業用水の使用制限について実施強化が懸念され、2番刈りや小麦収穫後に播種される遅播き用の収穫量は減少すると予想されます。

⑤豪州産オーツヘイ

産地では4月中旬から下旬にかけて13年産オーツヘイの播種が始まっております。西豪州では3月にまとまった降雨があり土壌の状態は良いようです。東豪州では乾燥状態の様態です。穀物相場の価格が高値で推移していることから13年産のオーツヘイの作付面積は減少すると予想されます。

新スキーム事業(代替飼料供給)は、現時点で6月末にて終了予定で進んでおりますが、組合としまして7月以降も継続するよう国に対して強く要請しております。

昨年から円安に動き始め9月末は77.8円台/ドルでしたが、その後も円安傾向が続き、5月中旬には約101~102円台/ドルになっており、その影響で輸入粗飼料の価格を大きくつり上げており08年産を超える高値で推移しております。以上のように厳しい状況ですが組合員の皆様には、安定供給に努めて参りますので組合購買事業にご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

平成24年度生乳需給状況について

販売課

1. 宮城県（販売乳量）

平成24年度4月～3月の販売実績は前年比3.8%と増加しましたが、月別推移をみると3月は98.1%となっております。また23年度下期から徐々に生産量が回復したこともあって、24年度下期は前年比99%で推移しました。

平成24年度宮城県生乳受託販売実績

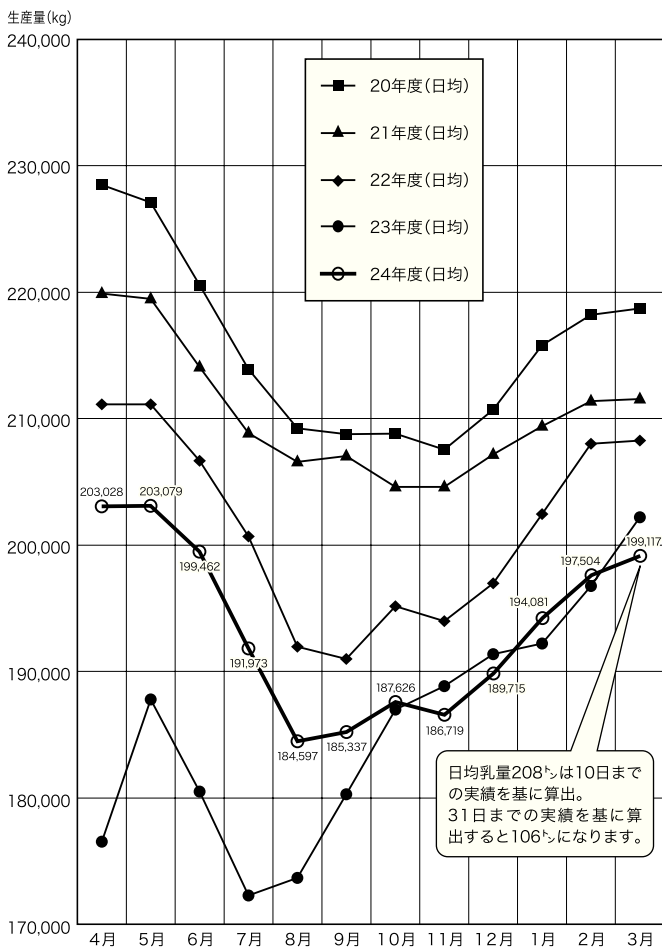
(単位: kg, %)

団体名	月	第1四半期	前年比	第2四半期	前年比	第3四半期	前年比	3月	前年比	第4四半期	前年比	平成24年度計	前年比
みやぎの		18,344,952	110.6	17,218,990	107.4	17,232,248	99.5	6,134,507	98.7	17,723,783	99.0	70,519,973	103.9
全農宮城		5,243,800	112.9	4,830,113	106.7	4,743,945	93.9	1,702,116	94.3	4,929,201	95.5	19,747,059	101.9
宮城酪農		9,041,019	113.7	8,360,661	107.8	8,308,157	99.1	3,073,391	99.2	8,715,342	99.2	34,425,179	104.7
宮城県		32,629,771	111.8	30,409,764	107.4	30,284,350	98.5	10,910,014	98.1	31,368,326	98.5	124,692,211	103.8

2. みやぎの（バルク乳量）

平成24年度4月～3月の生産実績は70,622トで前年同期比103.8%と増加しました。また、出荷戸数は年度当初363戸でしたが年度末では344戸と前年同月比較で△19戸減少しました。

みやぎの酪農乳量(日均)



平成24年度生乳生産実績（4月～3月 バルク乳量）

(単位: kg, %)

支 部 名	戸数	バルク乳量	前年同期乳量	前年同期比	計画生産数量	進捗率
白石支部	25	7,096,655.1	6,731,279.3	105.43	7,358,533.0	96.44
七ヶ宿支部	7	2,172,056.3	1,942,047.2	111.84	2,123,015.0	102.31
蔵王支部	31	8,333,461.0	7,929,427.0	105.10	8,668,328.0	96.14
柴田支部	21	4,519,148.0	4,087,908.0	110.55	4,468,840.0	101.13
角田支部	7	2,365,015.0	3,103,776.7	76.20	3,133,799.0	75.47
丸森支部	14	3,118,151.0	2,823,181.0	110.45	3,079,007.0	101.27
仙台支部	12	3,816,176.0	3,655,170.0	104.40	3,995,777.0	95.51
名取支部	8	1,197,265.0	1,216,462.0	98.42	1,291,343.0	92.71
黒川支部	11	2,218,610.0	2,076,631.0	106.84	2,254,617.0	98.40
古川支部	21	3,480,550.0	3,589,060.0	96.98	3,974,853.0	87.56
遠田支部	21	5,478,157.0	5,545,489.0	98.79	5,491,251.0	99.76
加美支部	22	3,251,719.0	3,078,853.0	105.61	3,348,789.0	97.10
岩出山支部	7	578,808.0	602,169.0	96.12	579,237.0	99.93
鳴子支部	17	2,703,565.0	2,739,445.0	98.69	2,943,737.0	91.84
一迫支部	13	2,997,636.0	2,708,780.0	110.66	2,944,151.0	101.82
築館支部	19	2,881,612.0	2,636,987.0	109.28	2,882,715.0	99.96
瀬峰支部	11	1,695,249.0	1,551,867.0	109.24	1,690,596.0	100.28
迫支部	14	3,109,308.0	2,781,101.0	111.80	3,007,253.0	103.39
中田支部	10	1,419,651.0	1,440,578.0	98.55	1,574,818.0	90.15
東和支部	10	1,368,662.0	1,409,286.0	97.12	1,514,337.0	90.38
志津川支部	9	1,355,327.0	1,180,294.0	114.83	1,290,278.0	105.04
本吉支部	11	1,428,885.0	1,288,356.0	110.91	1,408,412.0	101.45
石巻支部	9	1,349,880.0	1,235,656.0	109.24	1,350,801.0	99.93
豊里支部	14	2,686,762.0	2,636,372.0	101.91	2,796,513.0	96.08
みやぎの酪農	344	70,622,308.4	67,990,175.2	103.87	73,171,000.0	96.52

※ 出荷戸数については、直近の数字です。

第64回通常総会・地区別説明会の開催について

総務課

下記の日程で開催いたしますので、多数のご出席をお願いいたします。

区 分	開 催 日 時	開 催 場 所	支 部 名
地区別 説明会	6月12日(水) 午前10時30分	柴田郡大河原町 「ララ・さくら」	仙台・柴田・蔵王・名取・ 角田・丸森・白石・七ヶ宿
	6月13日(木) 午前10時30分	遠田郡美里町 「みやぎの酪農協」	築館・一迫・瀬峰・古川・ 遠田・石巻・鳴子・黒川・ 岩出山・加美
	6月14日(金) 午前10時30分	登米市迫町 「迫地方農業共済組合」	東和・迫・中田・豊里・ 本吉・志津川
通常総会	6月27日(木) 午前10時30分	黒川郡大和町 「まほろばホール」	

栗原事業所の閉鎖について

総務課

第63回通常総会においてご承認賜りました栗原事業所の閉鎖につきまして、組合員の皆様方には平成25年2月4日付け「栗原事業所閉鎖に伴う業務移管について」でお知らせしておりましたが、事務所等の解体工事も無事終了し3月31日をもって閉鎖いたしました。

栗原事業所の業務は組合本所が継承しております。より一層のサービスに心がけますので、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

○飼養状況

入牧…飼養頭数は3月末、4月末に全酪の預託によって北海道へ41頭の下牧を行い一時期より減り4月末現在250頭の飼養頭数となっています。そのため徐々に入牧待機頭数は解消傾向にありますがスターターを2ヶ月齢を過ぎても給与していない農家が多く、センターでの飼い直しから離乳までに時間を要し哺育舎での飼養期間が長く掛かり、今後の課題となっています。

下牧…飼養頭数が多いことから下牧時期は全頭分娩3ヶ月前の下牧となっています。

○授精状況

夏以降の受胎率は全般的に低下傾向となっており特に移植の成績が低下している状態が現在も続いています。

○発育状況

入牧後、過密頭数となっていた影響を受け10ヶ月齢まで発育が目標を下回っていますがそれ以降は目標値に達し下牧時には目標値を上回っています。

○センターでの哺育管理(生後10日での入牧例)

- ・入牧日翌日よりスターター給与(カーフトップを使用し基準通り)
- ・乾草はチモシー食べる程度、水は常時飲めるように。
- ・スターターの採食量が日量1kgを3日間採食した時点で離乳とする。
(センターでの離乳は40日から50日を目標としています。)
- ・離乳後スターターを日量1kgから1.5kgにし採食量を見ながら増加し、最大2.5kgまで上げ3ヶ月齢で育成飼料へ切り替える。

平成25年度指導事業説明会行われる

去る4月22～24日に登米事業所、本所及び、仙南支所で指導事業説明会を行いました。説明会の内容は①バルク乳検査及び搾乳立会の実施、②25年度産除染牧草地における牧草の放射性物質検査、③畜産経営力向上緊急支援リース事業(補助付き)、④その他指導事業の重点事項等について説明しました。3つの会場併せて約150名の組合員が参加されました。

今年度は組合事業の他、例年になく補助事業が数多く仕組まれるようです。組合員の皆様におかれましては、組合からの案内に目を通していただき、事業をご活用いただきますようお願いいたします。



畜舎環境美化コンクール表彰式・講演会開催

指導課

3月11日(月)本所大会議室において、平成24年度畜舎環境美化コンクール表彰式が行われ、入賞者に賞状と副賞が授与されました。最優秀賞の須藤しず子さんとは併せて宮城県知事賞を受賞され、宮城県農林水産部畜産課草地飼料班技術補佐 半沢康弘様より賞状が授与されました。

講演会では、「ヒメイワダレソウの栽培について」と題し雪印種苗株式会社牧草・飼料作物研究グループ課長 兼宮崎研究農場長 立花正先生より講演を頂きました。



組合では、昨年度に引き続き平成25年度環境維持対策事業の一環として、環境保全意識の向上と消費者へのイメージアップを図るため、婦人部の皆様のご協力を頂き、5月下旬に組合員全戸へ花苗配布を行い、美化運動並びに美化コンクールを実施いたします。ご協力方よりしくお願いいたします。

生乳の安全安心の確保のための宮城県協議会モニタリング実施

指導課

3月18日に「生乳の安全安心の確保のための宮城県協議会」が県内4地区において、酪農生産現場での管理基準遵守状況とチェックリスト記入のモニタリングを実施しました。宮城県協議会は県・乳業メーカー・酪農団体・共済連・獣医師会・動物医薬品団体・飼料団体・検査団体で構成され、ポジティブリスト制度を担保する団体です。

今回のモニタリングの実施で、記帳・保管については実施していた酪農家がほとんどでしたが、管理基準の遵守については処理室の施設など、管理基準に合致しない場合もありました。

今後も、記帳・保管はもとより、処理室内の清掃・整備等実施される様お願い致します。



平成25年度酪農ちびっ子勉強村春季交流会に参加

東北酪農青年婦人会議

去る3月26～29日の3泊4日の日程で、東北酪農青年婦人会議主催による第30回「酪農ちびっ子勉強村」が開催されました。

この催しは東北の酪農家の子供達が、日本の政治・経済の中心地である東京都の渋谷区で地元子供会（渋谷区少年団体連盟）の家庭への宿泊、交流会へ参加することで交流を深めるとともに、都会の生活を体験することで見聞を広め、都市と農村の役割を知り、相互理解を深めることを目的とします。

今年は東北から4名が参加し、本組合からは蔵王支部の廣谷和夫さんの孫の美里さん（中1）、若菜さん（小5）、椋太さん（小3）の3名が参加しました。短い期間でしたが都会での生活を体験し、都会の子供達との交流を通じて楽しい思い出を作ってきたと思われます。



第42回東北酪農発表大会開催される

東北酪農青年婦人会議

去る3月21・22日福島県福島町の『吉川屋』におきまして、東北酪農青年婦人会議主催による第42回東北酪農発表大会が開催されました。

今大会は「経営発表の部」1名、「意見・体験発表の部」4名の計5名が揃いました。当日は東北各地から約60名の参加があり、本組合青年部・婦人部からは約7名が参加し、大変有意義な交流の場であったと思われます。

審査の結果、経営の部は『地域と共に歩む酪農経営 ～夫婦の歩んだ40年～』と題して発表しました福島県酪農青年研究連盟の橋本あきさんが最優秀賞を受賞し、意見・体験の部では、『平成23年からの復活 ～きずな～』と題して発表しました宮酪青年婦人連絡協議会の佐藤みゆきさんが最優秀賞を受賞されました。

東北代表者となりました、橋本さん、佐藤さんは来る7月11日（木）、12日（金）に熊本県熊本市で開催される全国酪農青年女性会議主催『第42回全国酪農青年女性酪農発表大会』に東北代表として出場され発表いたします。



伊藤畜産課長



福島県酪農青年研究連盟 橋本あきさん



宮酪青年婦人連絡協議会 佐藤みゆきさん

宮城県酪農協会平成24年度酪農婦人研修会について

宮城県酪農協会

去る3月13日(水)、松島町「ホテル松島大観荘」において「平成24年度酪農婦人研修会」を開催いたしました。

この研修会は、日頃研修機会の少ない酪農婦人及び酪農乳業関係の女性職員を対象として開催しており、みやぎの酪農協、全農宮城県本部、宮城県酪農協、酪農乳業関係から総勢99名が出席しました。

濱田会長の挨拶、(社)全国酪農協会 今関常務より来賓祝辞をいただいたあと、管理栄養士の小山浩子氏から『ミルクを科学する牛乳乳製品の可能性とメニュー開発論 ～ミルクは味と栄養の宝箱～』と題し、講演をいただきました。講演は、おいしさを保ちながら減塩できる「乳和食」の紹介や、若さを保つアンチエイジングのためのヒントなど、出席者には非常に興味のわく内容で、質疑応答では活発な意見交換がなされ有意義な研修会となりました。

講演会終了後の懇親会では、和やかな雰囲気の中親睦を深めていました。



TPP反対緊急集会開催される

日本酪農政治連盟宮城県支部連合会

3月9日仙台市電力ホールで、TPPから食とくらし・いのちを守るネットワーク宮城とJAグループ宮城が主催となり『TPP交渉参加断固阻止宮城県民緊急集会』が開催されました。参加人数は、ネットワーク構成団体や一般市民、消費者団体など約800名。

平成25年2月の日米首脳会談を境に、政府が交渉参加を前提とした姿勢を強めている情勢を受け、TPP交渉参加断固阻止及び反対運動の拡大、そして震災復興を最優先とする政府姿勢・方針の確立を求め、緊急に県民集会を開催したものです。集会では宮城県農協中央会の菅原章夫会長が主催者挨拶を

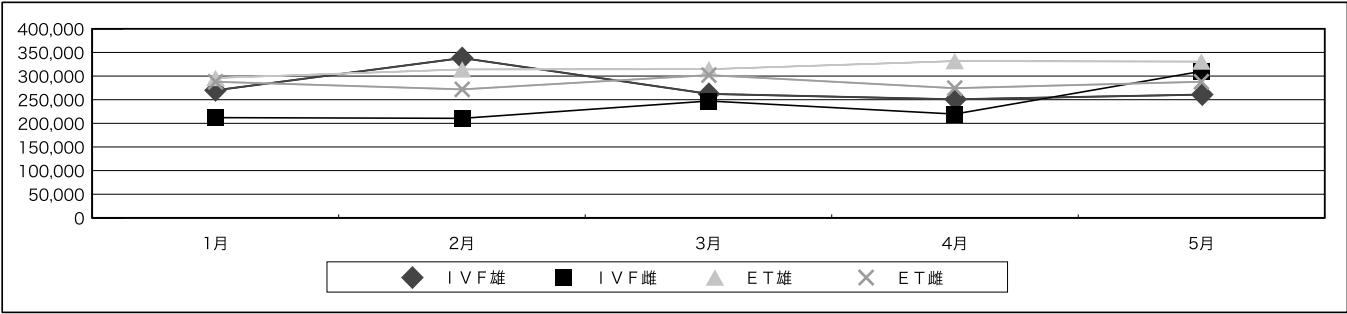
行った後、衆参両院議員の方々からTPP反対に向けて激励の挨拶がありました。続いて全中農政部 小林寛史部長から情勢報告、その後、参加団体代表から『TPP交渉参加反対』の決意表明がありました。集会アピールの採択後、会場の参加者全員でガンバロー三唱を行いました。閉会後は横断幕やのぼりを手に参加者約700名が仙台市青葉区商店街をデモ行進しました。組合からは濱田組合長、佐藤専務、渡辺理事、山内理事、伊藤正義理事、日野指導係長が参加しております。



平成25年雌雄別平均価格推移(みやぎ総合家畜市場)

単位: 円

	1月	2月	3月	4月	5月
I V F 雄	270,000	338,250	262,429	251,000	260,667
I V F 雌	212,250	210,333	247,250	219,500	310,000
E T 雄	296,200	314,000	314,412	331,905	330,650
E T 雌	288,000	272,000	302,182	274,300	288,111



理事会通信

総務課

理事会の開催状況及び付議事項についてお知らせします。

【第11回理事会】

開催日 平成25年3月1日
 開催場所 組合本所会議室
 付議事項 第1号議案 平成25年度事業計画(案)について
 第2号議案 総務委員会からの答申について
 第3号議案 (株)ミルクファーム蔵王に対する対応について

【第12回理事会】

開催日 平成25年3月18日
 開催場所 組合本所会議室
 付議事項 第1号議案 (仮称)ミルクファーム蔵王経営管理委員会への参加について

【第13回理事会】

開催日 平成25年3月29日
 開催場所 組合本所会議室
 付議事項 第1号議案 平成24年度決算基準(案)について
 第2号議案 平成24年度決算推定について
 第3号議案 平成25年度事業計画(案)について
 第4号議案 高年齢者雇用安定法等の改正に伴う就業規則等の一部変更について
 第5号議案 役員賠償責任保険の更新について
 第6号議案 貸出業務規程の一部変更について
 第7号議案 平成25年度借入金の最高限度の決定について
 第8号議案 平成25年度貸付金の利率の最高限度の決定について
 第9号議案 平成25年度同一人に対する信用供与(資金の貸付額、初妊牛リースの額、畜産環境整備リースの間接リースの額及び畜産近代化リースの額の合計額)の最高限度額の決定について
 第10号議案 平成25年度の余裕金運用について

10

4月10日	角田支部総会	角	田	市
4月11日	遠田支部総会	遠	田	市
	東京電力損害賠償担当課長・担当者会議	東	京	都
	政経セミナー	政	経	所
4月12日	丸森支部総会	丸	森	町
	全酪連・(株)ミルクファーム蔵王との打合せ	全	酪	県
	25年度肉用子牛生産者補給金制度業務推進会議	25	年	度
4月15日	日本酪農政治連盟常任委員・中央委員合同会議	日	本	都
	牧草の損害賠償請求担当者打合せ会議	牧	草	市
4月16日	購買推進会議	購	買	支
	畜産経営力向上緊急支援リース事業推進全国会議	畜	産	所
	(株)ミルクファーム蔵王経営管理委員会	(株)	ミ	都
4月18日	石巻支部総会	石	巻	市
	鳴子支部総会	鳴	子	市
4月19日	支部長会議	支	部	所
	肉用牛肥育経営緊急支援事業等推進会議	肉	用	町
4月20日	古川支部総会	古	川	市
4月22日	加美支部総会	加	美	市
	指導事業関連説明会	指	導	支
	(社)全国畜産配合飼料価格安定基金臨時総会	(社)	全	都
	日本酪農政治連盟常任・中央合同委員会	日	本	市
4月23日	豊里支部総会	豊	里	支
	指導事業関連説明会	指	導	所
4月24日	畜産みやぎ編集委員会	畜	産	市
	指導事業関連説明会	指	導	所
	購買推進会議	購	買	所
	東電原発事故農畜産物損害賠償対策宮城県協議会第21回総会	東	電	市
4月25日	白石支部総会	白	石	市
	東和支部総会	東	和	市
	中田支部総会	中	田	市
4月26日	岩出山支部総会	岩	出	市
	気仙沼市担い手育成総合支援協議会通常総会	気	仙	市
4月27日	気仙沼市本吉水産物直売センターリニューアルオープン	気	仙	市
	上原酪農組合通常総会	上	原	市
4月30日	第1回理事会	第	1	支
	東京電力に対する賠償金にかかる要請	東	京	所

人事のお知らせ

区 分	氏 名	新 職	旧 職	発 令 日
正 職 員	千葉 師義	総務課付け(株)みやぎの運送出向	販売課販売係	平成25年5月1日
正 職 員	富士野 武志	販売課販売係(新規採用)	—	平成25年5月1日
正 職 員	小島 学	仙南支所指導係(新規採用)	—	平成25年5月1日
正 職 員	吉田 守	仙南C S販売係(新規採用)	—	平成25年5月1日
正 職 員	宮下 健	仙南C S販売係(新規採用)	—	平成25年5月1日

[編集後記]

桜が散り、新緑が眩しい季節になりました。これから除染後初めての牧草刈り取りになる方々、二年目を迎える方々と牧草の放射性物質の数値が気になるところでありますが、指導事業説明会で話しましたように、放射性物質検査を確実に受け、宮城県産牛乳の消費につなげましょう。



発行

遠田郡美里町北浦字道祖神前16

みやぎの酪農農業協同組合

TEL.(0229)34-2311(代表)